

白河西ロータリークラブ

SHIRAKAWA WEST ROTARY CLUB

第1885回例会

令和7年1月22日
12:30～13:30



創立40周年

○ソング

- 我等の生業

○ビジター

- 照井耕輔様
- 岡野堅太様

○スマイルBOX

- 藤田龍文会長（本日は新人卓話という事で、菊地、上田会員ありがとうございました。又、お客様の照井様、岡野様ようこそ。永野会員の御冥福をお祈りします。）
- 運天直人幹事（菊地さん、上田さん卓話ありがとうございます。照井さん岡野さんようこそ西クラブへ。本日は永野先輩のお通夜に参加致しました。偉大な先輩のご冥福をお祈り申し申し上げます。）
- 菊地隆博会員（本日はご静聴いただきありがとうございました。今後ともよろしくお願いいたします。）
- 関谷亮一会員（永野会員長い間大変御苦勞様でしたゆっくりとお休み下さい。金田ガバナーエレクト国際協議会お疲れ様でした。7月のスタートまで充電をして下さい。）
- 金田昇会員（先日米国での国際協議会より戻りました。照井さん岡野さんようこそ、ロータリーへ）
- 沼田重一会員（金田ガバナーエレクト研修ご苦勞様でした。又、菊地さん上田さん、卓話ありがとうございます。ロータリーでも一緒に楽しみましょう！）
- 大住由香里会員（RCに入会したてのホームミーティングで、「得するとか損するとか考えないでとにかく出ておいで」と声をかけて頂いた永野さんとの約束を守って行きたいと思っています。ご冥福をお祈りします。）
- 山縣栄寿会員（本日も気持ち良くスマイル、スマイル、スマイルです。照井様、岡野様、来ればわかるさ、この道を人と人との繋がりを深めるチャンスです。お待ちしております。）

永野文雄会員（1月18日享年80歳）がご逝去されました。

ここに謹んで哀悼の意を表します。



▶第1885回例会出席状況

（R7年1月22日）

Ⓐ 出席免除を受けていない正会員数	56名
Ⓑ 出席免除の適用正会員数	17名
Ⓓ 全正会員数	74名
Ⓒ ①の出席者数	17名
Ⓔ ①のメイクアップ者数	0名
Ⓕ ②の出席者数	8名
Ⓖ = ③ + ④ + ⑤ (メイクアップ補填後の出席会員数)	25名
Ⓗ = ⑥ - (⑦ - ⑧)	69
Ⓘ = ⑥ / ⑨ × 100 (例会出席率)	36.2%

本日のプログラム

■会長の時間



藤田龍文会長

皆さん、こんばんは。大変寒波が来て寒い日が続いております。体調など崩されないようにくれぐれも注意していただきたいと思っております。今週一週間、大変多くの事がございました。まず、金田ガバナーエレクトがアメリカの研修よりお戻りになりましたので、後程研修のお話を少しお時間をいただいて皆さんに報告をさせていただきたいと思っております。そして先週の日曜日私どもの会員である永野パスト会長がお亡くなりになりました。心よりご冥福をお祈りしたいと思いますし、私どもロータリー定年がございませんので、終身会員でいられたという永野会員に心から敬意を表してここですでに黙祷を捧げたいと思っておりますので、お食事中申し訳ありませんが皆様ご起立いただいて黙祷をしたいと思います。それでは、永野会員に捧げる黙祷としたいと思います。黙祷。



永野会員には私だけでなく多くの会員の方々はいろいろな事を教わったかと思えます。まず、何より今年の40周年の記念式典の時には永野会員が入会から40年来一度も会を欠席してない100パーセント出席の表彰という事で考えておったんですが、とても残念でありますし、ロータリーの国歌斉唱だったりいろいろな部分でご指導いただいたと思えます。食事のスタイルにしても、いろいろな服装の身なりにしても本当になかなかこう最近では言ってくれない部分を永野さんはいろいろところで教えていただきました。ゴルフに関しても麻雀に関しても、私若い時にはよく一緒にさせてもらっていただきまして、普段もそういったところ常々いろんな方々に若いメンバーは教わったと思えます。そして、何より私ども白河西ロータリークラブ本年度40周年ですが、それを起ち上げた最初からのメンバーと。いわゆるチャーターメンバーといいますが、チャーターメンバーで今も何人かいらっしゃいますがその貴重な1名だったということで、本当に残念に思いますが今日先程お通夜で多くの会員の方も来ていただきましたし、明日告別式ということでそちらでしっかりとお見送りをしていきたいと思っております。そして、今週の月曜日は40周年の実行委員会ということで、まだまだスロースタートではありますが40周年4月12日に向けて、その前の週の5日ゴルフコンペも含めて、しっかりと皆様に感謝の気持ちを示せるようなゴルフコンペだったり記念式典、懇親会にしていきたいと思っております。そして、翌日は地区大会の実行委員会ということで、10月におこなわれます地区大会の準備ということで、そちらも大変大きい会になります

し、金田ガバナー年度の大きい印となりますので、そちらもどんどん準備をして金田ガバナー年度をしっかりと地区大会、さすが白河だなというように思わせるような地区大会の運営にしていきたいと思っておりますのでちょっと年度後半いろいろな事が沢山同時に起きておりますので、会員の皆様混乱なされないように、急遽来月の2月の例会少しプログラム内容を変更させていただきまして、これから今年度の年度末起り得る40周年やいろいろな事業、そして年度初め、年度替わりに青木年度になった時に、地区のいろいろなセミナー等もございまして、その辺を少しスケジュール的にも整理させていただいたり、多分会員の中では何の大会の何の話をしているかちょっと皆さん同時進行で始まっているので混乱されている方も沢山いるかと思っておりますので、そういった部分を少し整理も含めて2月12日の例会の時には、そういった部分の例会を急遽行いたいと思っておりますので是非よろしくお祈りしたいと思います。そして、本日お客様が2名いらっしゃっております。照井さんと岡野さんになります。後程、それぞれにご紹介いただいて是非ロータリーの世界に混ざっていただいて、どんどん新しい若い力を会員としても吸収できたらいいかなと思っております。そして、本日のプログラムとなります新人卓話ということですが、菊地君と上田君がお話をいただけます。ちょうどお客様の照井様、岡野様も新人でもこのぐらいいろんな話ができるんだというのを是非期待していただいて、どんどんハードル上がりますがとても落ち着くロータリーに入るとこんなふうに人間的にもいろんなお話ができたり、いろんな経験が詰めるんだという期待の新人お二人を用意しましたので、新人の卓話のお二人にはこの話次第で二人が申し込みしてくれるかしてくれないかということも関わるかもしれませんので、是非緊張してお話していただければと思います。本日は新人卓話とお客様2名ということで、新しい力がいろいろ活躍できる例会だと思っておりますので、是非ご期待していただければと思います。

■幹事報告

運天直人幹事

- ガバナー 泉田征慶：2025-2026年度「44回RYLA研修会」への参加について
- (株)オクトン：商品価格の改定について
- ガバナー泉田征慶：2024-2025年度地区研修・協議会記録
- 東白川ロータリークラブ：創立51周年記念式典 ネームプレート持参について

■本日のお客様

●「株式会社リーフ」

照井耕輔様



皆様、こんばんは。「株式会社リーフ」の照井耕輔と申します。本日は藤田会長にお誘いいただき遊びにきました。ただ、以前から白河西ロータリークラブさんというお名前はちょこちょこ聞いていたんですが、あんまりどのような会かわからないので一応ホームページのほう確認させていただいてから参りました。自分達が良くなるだけではなく、自分達が暮らす地域社会と共に一緒に良くなろうということが書いてあったんですけども、素晴らしい理念をお持ちのクラブだなと思いました。本日は今後どうなるかまだわからないんですが、本日は一緒に楽しい時間を過ごせればと思います。今日はよろしくお願いいたします。

●「有限会社北栄商事」

岡野堅太様



こんばんは。「北栄商事」から来ました岡野堅太と申します。当社はうちの社長が起ち上げた会社になりまして、運送業から始まり、今は私は倉庫業を任されております。今日は藤田社長からお招きいただき、こういった社交の場も経験したほうがいだろうということで今日は参加しました。

普段なかなかこういった所に来る機会がないので緊張していますが、いろんな業種の方と話したりして親睦を深められればいいなと思っております。今日はどうぞ優しくしてください。よろしくお願いします。

■国際協議会の報告

●金田昇ガバナーエレクト



皆さん、こんばんは。照井君、岡野君、いいタイミングで入りましたね。これから、今年と来年と福島県内2530地区でトップを走るクラブですので、非常に忙しく猫の手も借りたいというくらいですので、皆さんしっかりお手伝いをお願いしたいというふうに思っておりますのでお待ちしております。

よろしくお願いします。それでは、国際協議会行って来た報告をですね、この前、地区の諮問委員会で発表して、それから全体に発表していくという流れなんですけど、まあフライングで自分のクラブですので簡単に本当に簡単に今発表用の資料を作るところです。中途半端なのでこんな雰囲気だったなということだけご説明できればというふうに思っております。インターナショナルアッセンブルとって国際協議会、次年度の各地区のガバナーエレクト、全地区で五百数十あるんですけどもそこの方達が集まりました。と同時に、奥様だったりパートナー。パートナーというと外国だとパートナーといっても奥様とは限らないパートナーもいらっしゃいますので、そういう方達もいらっしゃいました。それから全体として地区のRIの役員も含めると、1千名くらいの方がそこで入ってくるというふうなことでございます。期日は、現地時間の1月11日から15日までアメリカのフロリダ州オーランドという、フロリダ州のちょうど真ん中あたりにある「ローゼンシングルクリークホテル」という非常に巨大なコンベンションをやるようなホテルですね。ゴルフ場が隣接してまして、非常に綺麗なゴルフ場が隣接しております。アメリカのディズニーランドの本拠地でありまして、ディズニーランドちょっと行く途中に飛行場からホテルまでの間にありまして、そこをちょっと眺めながら来たんですけども、敷地の面積が東京の山手線の内側と同じくらいの敷地の面積を持っているということで、いろんなアトラクションとかですね、それあるということとてつもない所ですね。年間そのオーランドの空港にはですね、5千万人近くのお客さんが来るというんですね。日本に来る外国人の観光客と同じくらいの観光客が一年間に来るというふうなとんでもない施設のところだそうです。そこまではですね、日本から途中ちょっとヒューストン経由で行ったので乗り継ぎなんですけども、ヒューストンでちょうどヒューストンの入国の所、イミグレーションの所にちょうど土曜日だったので、あちらも働き方改革なんだか知らないんですけど、国の職員さんが3分の1くらいしかなくて、通常30分くらいだったら入れるところが1時間半くらいかかって入国ということで、飛行機が一便乗れ

ないというふうなトラブルがありまして、日本から羽田からオーランドのホテルに着くまで20時間かかりました。ちょっと疲れたなあというふうな思いであります。そこでRIの新しい会長のことをちょっとご説明しますと、オンライン・ハキーム・ババロラという、私らオンラインというふうにインカ会長というふうな呼ばせていただいております。ナイジェリアのご出身の方で、韓国のユン・サングさんが急遽お亡くなりになりましたので、そのピンチヒッターでなった方です。そんなことでオンラインさん、非常に見るとですねアフリカ出身の会長さんって初めての方で怖い方かなというふうな、見た目はこんな感じなんですけど非常にフランクな方で、パーティーなんかで飲んでるとすぐ側に来て肩をトントン叩いてくれたりなんていうふうな非常にフランクなフレンドリーな方でありました。この方もなかなかユニークな方で、ローターアクターからローターアクターをやってロータリアンになったというふうな方です。簡単に説明します。日本からは34地区の33名のガバナーエレクトとパートナーの方が16名、この写真に写ってる方達が49名が参加されました。今年の特徴としては、通常去年あたりまでですと大体団体旅行みたいな形で皆さん行ったんですけど、ほとんど7割くらいの方が個人で飛行機を手配して入ってくという非常にこうなんでしょうね、インターナショナルな感じの方たちばかりで非常に面白いなというふうな思いであります。まあこんな感じで、これはホテルの中のメイン会場に入るエントランスの所の階段の所で皆さん撮っておりました。スケジュールなんですけども、こんなふうなガバナースケジュール、これ私のスケジュールなんです。こういうものを一人一人全部スケジュールが違いまして、これ渡されて朝9時からの本会議というのがありまして、その後に分科会というのが8回全部でありました。本会議は大体1時間半くらいの間ですが、その中でRIの理事の方とか役員の方とか、あとは財団の方達とかいろんなお話をされました。言葉は通じないんですけど、ほとんど同時通訳のヘッドフォンを渡されて、それで聞いてそれに対してこういうような討議をしていくというふうな形の本会議を進みまして、その後に分科会といって昔皆さんわかってると思うんですけど、RLI形式みたいなですね、ちょっとこうコの字型になって10人くらいの方達が集まって、そこにインストラクターというかファシリテーターが入りましていろんな討議をしていくというふうなことであります。日本人だけでやるセッションもあるんですけど外国人も入ったりします。外国人入った時は同時通訳が入りまして全員日本語で話すと英語に翻訳してくれるし、英語で話された方は日本語に翻訳してやってくれるというふうなことです。他のスペイン語とかフランス語の方達は別な会場でやっているの、基本的に日本語と英語圏の方達というふうなスタイルでやっておりました。これが本会議の様子がこんな感じですね。これもちょっと貰った写真なんですけど、本当はもっと物凄い広い所で、大体1千名くらい入る所をこの画面が4つぐらいのプロジェクターを使って駆使してということで、いかにもインターナショナルだなあというふうなイメージでありました。それで、RI会長のメッセージの主要な話なんですけど「持続可能なインパクトを生み出そう」ということで、やっぱり継続性とかあとは象徴的な何かインパクトのあるような事業をやりましょうというふうなことをお話させていただきました。後でかみ砕いて今度地区を通してお話させていただいてと思いますので、簡単にお話させていただきます。1番2番3番4番と幾つかのテーマごとにお話をされていきました。大きなところでは、2030年までにロータリーを125万人にしよう。ローター

アクターを12万5千にしよう。ロータリアンを今115万人ぐらいなので、あと10万人増やしようというふうなお話であります。それと4番目にあります、過去の自分たちを超えよう。まあ、目標を立ててということなんですけども、5年から7年の間、過去の中で自分達で一番良かった時のことを思い出して、それを超えるようなことをやりましょうという象徴的なコメントがありました。それから、教育のコミットということで、今現在、奨学金も含めて教育にかけるお金というか経費が世界中で削減されてると。それを何とか補完しようというお話をされてました。これがちょっと時間ありますね。この写真がミーティングのグループ討議の様子でございまして、これが大体1時間半くらいづつを8回行います。真ん中の下の方のやつはインスピレーションを起こしながら簡単な材料を与えられて、ロータリーとは何ぞやというイメージで作りなさいなんていうようなね、非常に難しいテーマを与えられました。右上の方達が日本から来たファシリテーターの3名の方で、非常に優秀な方でした。それとこれが懇親会も含めたところでこんなふうな和やかにやってますよということで、ジュニア・ジョーンズさんという非常に5年前のRIの会長さんですね。こんな感じでフランクにすべての会長さんこんな感じでフランクに来てくれて、一緒にお酒を飲んだりいろいろさせていただきました。それから、文化ショーという右下にあるんですけども各国のブースがありまして、そこで自分たちの持ってきたいろんな土産物を皆で交換し合うというふうな国際交流の場を設けたり、そんなこともありました。それから、全体としてこんな事だったんですけども、地区運営に向けてということで私自身がこれから考えていこうということに関してやっぱり地区内2004名の方のご支援をいただいてガバナーになるわけですけども、その方達の後押しがあればということ考えております。と同時に、ちょっと雑談的になるんですけど、行ってすごく感動しながら感じたことはやっぱり地区にいる2千名ぐらいのロータリアンがいるから私はここにいるんだなということをもすごく感じました。そこにいられる喜びは皆さんのおかげなんだなということと同時に、ちょうど3日目ぐらいでちょっと精神的にへこたれてた頃にガバナー補佐のメンバーが8名いるんですけど突然メールが入ってきまして、頑張ってくださいとか、なんかいろんな声援のメールがこっちから何も情報出してないんですけども入れてくれた。それが非常に嬉しかったというのがありました。地区のメンバー、クラブのメンバー、これが心の支えになって乗り切れたなあというふうなところであります。これから、皆さんに対してご恩返しできるようにですね、いろいろ研鑽積んであと半年後にガバナー就任ですがそれに向けてしっかりやってきたいなと思います。地区大会、それから三大研修、セミナー、いろいろクラブの皆様にはお世話になりますけれども、是非新入会員も含めまして皆さんで力を合わせて地区運営にご協力いただければというふうに思います。非常に資料もまだまだこれから作ってるところで中途半端ですけども、雰囲気だけでもということでご報告とさせていただきます。ご支援ありがとうございました。お土産は何もありませんけども、健康に帰って来たことだけはご報告いたします。ありがとうございました。

■本日のプログラム

●プログラム委員会



皆さん、改めましてこんばんは。プログラム委員長の永山龍太郎と申します。声聞きづらいと思いますが、何卒よろしくお願い申し上げます。本日、新入会員の卓話ということで、本年度新入会員の方今のところ4名でプラス1名で5名おります。第1回目は、菊地隆博会員と上田雄介会員のほうにお願いをさせていただきました。卓話の内容については、事前にちょっと連絡をさせていただきましたが、自己紹介やご職業、趣味、ご入会の経緯、そしてロータリーの思いなど熱く語っていただければと思いますので、何卒宜しくお願いいたします。それでは、まず最初に菊地隆博会員、よろしくお願いいたします。

新入会員卓話

永山龍太郎委員長

●新入会員卓話

菊地隆博会員



改めまして、只今ご紹介にあずかりました、先程会長からもありましたけども期待の新人一人目の「株式会社トゥルス」の菊地隆博と申します。よろしくお願いいたします。今日は何を喋っても藤田会長の俺が笑ってやるから安心しろという頼もしいお言葉いただいたのでちょっとリラックスしてお話させていただきたいと思うんですけど、本日このような場を設けていただいて大変光栄に思っております。その前に改めまして、永野大先輩のご逝去を慎みまして追悼の意を捧げたいと思います。生前の永野先輩の白河西ロータリークラブに注がれた多大なご功績を忍びつつ心よりご冥福をお祈りいたします。昨年末に永山会員から新人卓話ということで15分間話してくださいとのミッションをいただいたんですけども、幸い今ちょっと押してますので、ちょっと手短にお話させていただきたいと思います。メンバーを確認したところ、JCで会長も務められた上田会員や鈴木恒平会員だとか、今年のクリスマス例会で司会進行素晴らしい進行された大竹ゆかり会員だとかちょっと名前並んでいるので、これはちょっと僕もどうにかしなくちゃいけないぞということでちょっと鼻息荒くしてきましたけども、お聞き苦しい点多々ありますけれども、そこはどうぞ温かく見守っていただきたいと思います。私、出身が東京の足立区という下町出身なんですけれども、物心つく頃には引っ越してしまったので記憶はあれなんですけれども。もともと下町の商店街の本当小さなおもちゃ屋さんとか、あと修理とか販売もやる靴屋さん。昔ながらの靴屋さんですね。ですとか、祖父がハンコを掘って販売してたりとか、そんな間違いなく士農工商でいうところの商人の家系だったんじゃないかなという家で生まれました。小学校上がる頃には文京区の千駄木という所に越しまして、その辺は谷中根津千駄木なんて言って、3地区下町の会報誌なんかも出してるような谷根千と呼ばれる、頭文字取って谷根千と呼ばれる下町で育って、下町から下町に越したわけですけども。たまたまなんですけども千駄木という所がですね、最寄りのわたくしりつ(私立)、中学校、高校が開成。大学が東京大学というなんかちょっとそういった意識の高い人たちが集まるような所に間違っって越しちゃってるんですけども。おそらく母親もまだ小学校上がる頃ですから私の出来がどうかというのはまだ確定する前で

すから、おそらくうっすらと期待はしたのかなと思ってちょっと母親に申し訳ないことしたなとちょっと思ってるところであります。そんな母親もスナックでママさんをやってたことがあったりとか、本当商人の商売人なんですけれども。その店が今思えば本当と昭和のスナックというイメージで、どうしてもスナックなんて言うとなんとなく年配のお母さんのスタッフだとかイメージしがちなんですけれども、30年前の話なので分かりやすく言うとそのと昭和のお母さんたちが若かった頃の若い頃を現場で見てるんですね。今思えばすごい店だったなって。私もそういう仕事に大人になって携わった時に、あの店すごい店だったなって。今思ってもそういう印象の店なんですけど、母は一滴もお酒飲まないんです、スナックっていっても。なんだけれども、その辺湯島って行って上野の隣町になるんですが、飲食店のひしめくエリアなんですけども、そこでもひととき忙しい店だったと記憶してました。そんなお店に20代の頃に手伝いで働いていたこともあるんですけども、その店を再現したいなと思って実は私10年ほど前にスナックをオープンさせていたでます。ちょっと今はちょっと違った方向の店になってますけれども、そういう感じではないんです。その他にもレストランとかお寿司屋さん、バーもショットバー、ダーツバーもそうです。あとダイニングバーなんて行ってちょっとしっかりめの食事ができるようなバーとか、とにかく飲食、自分も料理作っていた時とかもあってそういうところで畑で育ったもんですから、白河でも飲食を是非やりたいとずっと思ってた。ところがですね、新型コロナウイルスなんかという未曾有の災害に見舞われてしまってます。スナックはやってますから、代行呼ぶ側のお店なんです。運転代行。来ないと困るんです。ところが、ドライバーさんもみんななくなっちゃって。これは困ったぞと、あてにならない。うちのお店もそうですけど、他の店でも代行が全然捕まらなくて、お客さん呼ぼうにもお客さんが代行来ないと帰れないと嫌だから困っちゃうから行けないんだと断られたりとか。これはどうしようもないっていうので、どうせ飲食展開してやろうというのであれば、自分で代行持ったらこれは面白いんじゃないかと。本当コロナのあの騒動がなければ私代行やってなかったかもしれないという、その場のなんていうんですか、代行自体ないと困るけどもコロナは絶対いつかは終わるという自信もあったので、これは終わる前になんとか代行やってしまえというところで今、運転代行の仕事なんかさせていたでしております。ちょっと長くなりましたけど、私がその「株式会社ツルース」白河代行、運転代行を始めたきっかけなんですけれども、今白河に代行会社というのが6社あるんです。6社あります。コロナ前からコロナをまたいだのが4社。うちとう1社あるんですけど、公安の認定が必要な商売ですから白河警察管内でいうと矢吹なんかも含めて8社。最近、チラッと見たらもう1社西郷村の登録で1件増えてたので、ちょっと私も知らない情報なのでもし何か知ってる方いれば教えていただきたいなと思っております。その白河で走っている代行さん6社合わせても、最大数が19か20しかないんですね。昔は多分中央さん1社で20台くらい出してたという話も聞いてるので、私はその時代ちょっと見てないのでわからないんですけども、だいぶ少なくなってます。なので、2時間3時間という日もありますけれども、そこは本当申し訳ないなと思うんですけども。そのうちの6台が白河でうちで走らせていただいています。巻きめになってるんですけど、ロータリーに入会したきっかけなんですけども、個人事業主としてそのスナックから事業を始めて、代行も個

人事業主で始めて、法人化もちろん考えてたんですけども、その法人化したら団体に入っている人々とコミュニケーション繋がってなんてという漠然としたイメージはあって、それいつまでとか、どこの団体だ何だっていうのはなく、ただ漠然とイメージはしてたんですけども、一昨年頃から法人化の予定でいろいろ考えてたところ、白河西ロータリークラブで来年度金田ガバナー年度というのがあるんだと、いろんな方送らせていただいていますから、実はそういうお話をいろんな方にお伺いするんですけども。今こういう動きをしているところなんだとお話をお伺いした時に、もちろん最初からそのお話を聞いて理解したわけではないんですけども。何日もそういう仕事に話を車の中で聞いてましたら、私も以前は「小峰代行」の社員として走らせていただいたこともありますから、白河という知らない土地に東京から来て代行なんて仕事を知って、自分でその代行会社を興して白河西ロータリークラブ団体やりたいって漠然とはありましたから。そこでこのタイミングっていうのは元小峰代行の社長がこういう動きをしていると聞いたらね、そりゃ大袈裟ですけどこういう縁があるのかなと。それはもう誰ととかでなく、人としてそういう縁があるのであれば、それ無視して仕事をこの町ですと続けていく自分もなんか想像できないっていうか、なんかそういうの大事にしたい性格的なところでもありますけど。余談なんですけど、やっぱり「小峰代行」で相方で仕事ずっと教えてくれた先輩が小峰の後に他所の代行働いてまして事故してしまったんですよ。その時やっぱり私の所に連絡が来たんですね。その方多分白河でおそらく25年くらい代行ドライバーとしてお仕事されてたんじゃないかなっていう方なんですけれども。開業間もない頃に連絡があって、事故してしまったんだけど自分のその会社のほうではお前は自分で何とかしろと、会社が面倒見てくれないんだ菊地さんちょっと助けてくれないかと。そういうのもあって、同じように思ったんです。俺この町でこの仕事この人に教わったんだよなと。これをまた無視してこの町で開業して間もないですから、これ無視してできないなと。ちょっと助けさせていたでいた、ちょっと関わらせていただいたんですけど、そういうのをずっとやってる性格なんですね。もうそれがぴんぴんと点と点と線になっていくように、なんか自分の中でもなんか高まってきちゃって、なんかこれやんかやいけないうんだみたいな、そんな感じでモチベーション上がった状態でこういう所に立たせていただいていますけれども。そういう縁を大事にしたいという性格と、知らない土地に来て仲間に入れてもらえるというだけでやっぱり嬉しいんです。嬉しくて一番そういう人と繋がる新たな場所で実感できることというのが仕事にも繋がる、モチベーション高めて繋げていくってところで、今こうやって今やらせていただいているというところできっかけかなと後付けにはなっちゃうんですけどもね。そういうクラブに参加してできたということが、私にとって今後仕事していくマインド、の中で大事な瞬間だと考えています。何年か経ってあの時入会して良かったなと思えるような時間を今ここでずっと過ごしていこうとということと、これからの奉仕活動や事業に精一杯取り組んでいきたいと思っております。お時間ね、今ちょうど15分きってしまったんですけど、上田会員もうちょっと引っ張ったほうがいいですか、これ。大丈夫ですか。上田会員の時間が無くなってしまうと、ちょっと後で怒られちゃうので、改めましてこういった経緯で今ここに立たせていただいているので、これからもご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。というところと共に、本

日の卓話のほうは終わりにしたいと思います。ご清聴ありがとうございました。

●新入会員卓話

上田雄介会員



はい、改めましてこんばんは。今ほどご紹介いただきました上田雄介と申します。つい先月入会のほうさせていただいたばかりで、実はわたくしも新入会員卓話ですか、前例のない話だったので何を話していいのかかわからず、本日はノーブランチで来させていただきました。まずもってこのような機会をいただきまして誠にありがとうございます。先程、永山委員長のほうからテーマというかそういったものを伺いましたので、まずはそれに沿ってお話のほうをさせていただきたいと思います。わたくし矢吹町出身でございます。本来であれば矢吹町矢吹ロータリークラブがあるんでしょうけども一切お声がけをいただくことなく、青年会議所の先輩方が多数ご在籍するこの西クラブのほうに沢山お声掛けをいただきましてお誘いをいただきまして入会する運びとなりました。仕事のほうは一言でいうと植木屋のほうを営んでおります。白河を牛耳る堀田さんがおりますけれども、堀田さんの植木屋とはまた業種が違っていて、わかりやすく言いますと堀田さんは緑地管理をメインとする生業で、わたくしのほうは植木の生産、卸し、販売。あとは、伐採業をメインとした事業を行っておりますので、堀田さんとうダブることはないです。たまにこう依頼があってお互い行き来するという流れでございます。その他、その卸の部分でいうと北は北海道から南は九州まで仕入れ先と卸先とございますので、常にこういった方と電話連絡を取るというのが今非常に楽しみながら仕事をしているというところでございます。年々需要が増えてるのもこれは本当に大変ありがたいことですが、需要が増えて現時点で間に合っていないというところで、先週ですか運天幹事のほうにいいよ外国人雇用についても検討するというところでご相談させていただきました。早速手続きのほうも進めて、今連絡待ちというところではございますけれども、是非運天さんのその慣れた経験とお知恵をいただきながら、揉めないように裁判ごとにならないように新たなブームを取り入れていきたいなと思っております。仕事のほうは今非常に若い社員も多くてですね、他からも羨ましがられてるところではございますけれども、それはそれでいろんな悩み事もございますし、これだけ多くの皆さんと共にいる場がございますので、その辺も相談をしていきながらいろんなアドバイスを頂戴しながら事業の拡大に向けて頑張っていきたいなと思っております。そんなわたくしですが、中学、高校時代とずっと野球のほうを続けてまいりました。最近では名前を聞くことも少なくなってしまうかもしれませんが、石川町の学法石川高校という所で寮のほうに入って野球部に野球に没頭しておりました。わたくし1年生の頃に最後に夏の甲子園に行ったのがそれが最後となったわけですが、2年前に春の選抜が33年ぶりに出場を果たすことができて、今なおわたくし自身も学校にはすごく連絡を取り合うサポーター的なところもございまして、是非とも今後も支援を続けていきながら、また西クラブのほうも中学生の野球大会を開催されてると思います。CKBでしたっけ、そちらのほうも協力できる範囲で協力していきながら、未来のそういった球児たちを支援していければなと思っております。今は野球、自分自身がプレーするというこ

とからは離れてしまったんですけれども、子供もまだ小学生の一番下の子供がいて、そちらのほうも保護者としてまたサポーターとして今なお支援をしておりますので、その辺でまた皆さんにお力をお借りする事もあるかと思っておりますので、引き続きよろしくお願いしたいと思いますし、野球をやらなくなったぶん今はゴルフのほうに没頭しております。いっぱいお金を取られることが多いゴルフですが、西クラブのほうも年に数回コンペのほうを開催してると伺っておりますので、そちらのほうにも積極的に参加していきたいなと思っております。ロータリー活動に関しては毎週木曜日というところで、非常に時間を取るのも大変なところではあるかと思っておりますけれども、その時間の作り方、時間を作るというのもそれぞれ本人の努力次第だということも藤田会長仰ってましたので、極力参加していけるようにスケジュール調整なんかも含めて研鑽していきたいと思っておりますし、先程の金田ガバナーのお話になりましたRI会長の、ロータリー決して奉仕だけではなく自分自身が変われる機会だということも、それも肝に銘じながら日々頑張っていきたいなと思っております。非常に久しぶりにこう人前で話すのがあって、今非常に汗かいてます。びっくりしました、自分でも。いや、本当です。今まではこう青年会議所時代もこういった機会を数多くいただいて事前にこういった準備をしながら話したんですけれども、ノーブランチで人前に立つというのはやっぱり難しいですね。改めてそういった部分も感じさせていただきましたし、先程の菊地会員みたいなストーリーとかそういったのも私身構えておりませんし、そんなのも今後作っていければなと思います。また、今年度は40周年。来年度はガバナー輩出クラブとして、非常に多く駆り出される機会があるかと思っておりますので、その機会を逃がすことなく積極的に参加していければなと思いますし、その中で自己研鑽をしながらまた皆さんといろんな思い出を作っていければなと思いますので、終身雇用という長い期間ではありますけれども、是非皆さんと共に良い時間を過ごしていければなと思っております。また、本日2名の新入会員候補者が参加しておりますので、そちらのほうにも新入会員の動員にも積極的に取り組んでいきたいと思っておりますし、いち早く後輩を作り上げて今一番下々の人間ですので、是非とも顎で使えるような人材を数多く取り入れていきたいと思っております。時間まだありますね。大丈夫ですか。逆に、最後に皆さん何か質問、聞いてみたい事あれば。大丈夫ですか。ということで、それは今後いろんな形でお話しできればと思います。本日は貴重なご機会をいただきまして誠にありがとうございます。

●プログラム委員会

永山龍太郎委員長

皆さん、こんばんは。改めましてですが、本日お配りさせていただきました2月のプログラムについてになります。2月12日、内容のほうが変更になりましたが、これから大切な部分の内容の話になりますので是非とも参加のほうよろしく願います。そして、第3週目の新年会になりますが、この日18日水曜日になります。いつもの木曜日ではありませんので、スケジュールのほう毎週毎週スマホとか、こう自動登録なってる方多いと思いますが、18日水曜日から会場はこの場所になっておりますのでお間違えのないようよろしくお願いします。以上、プログラム委員会でした。